



<http://blog.chugoku-np.co.jp/fureai18/>

広島で子ども教室 17人が参加

心伝える 手話入門

声を出して話す代わりに、手や腕を動かしたり、顔の部位を指したりして会話をする手話。「夏休み子ども手話教室」が広島市中区の中央公民館で開かれました。2回の教室に、幼稚園の年中から小学6年生までの子ども17人が集まりました。講師は手話サークルかたらいの代表で、県の手話通訳者認定証を持つ新田哲之さん(52)です。(宮地佳代)

1回目の教室は基本編。まず新田さんが手本を見せ、「みんな今から友達だよ。全員の名前を覚えよう」と呼び掛けました。子どもを連れてきた保護者も一緒に、それぞれの名前の表現を学びます。
例えば「まき」という名前。「ま」は人さし指、中



「さんぽ」の歌を手話で表現しました

耳不自由な人を深く理解

指、薬指を下向きに立てる
と「M」の形に似ているか
ら「ま」と表します。「き」
は手をパーに開いて、親指、
中指、薬指を合わせてキツ
ネの形に。

「はじめまして」「こん
にちは」「ありがとう」。
あいさつの表現も13種類覚
えました。参加者同士で早
速自己紹介。積極的な人も
恥ずかしそうな人も、上手
に手を動かして、習ったば
かりのあいさつの練習をし
ました。

2回目の教室では、耳の
不自由な三宅順次さん(60)
をゲストに迎えました。手
話はきちんと三宅さんに伝
わるでしょうか。みんな体
の正面を三宅さんに向け、
手を動かします。

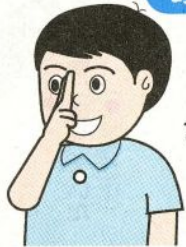
会話をする時には、相手
を思いやる心や、通じさせ
ようとする努力も大事。口
の動きで言葉を読み取っ
てもらおう「口話」や、人さ
し指で文字を空中に書く
「空書」も用いながら、一
生懸命、コミュニケーションを
図りました。

手話をマスターするだ
けではなく、耳の不自由
な人たちのことをより深
く知るのも講座の目的
です。三宅さんからは普
段の生活のことも聞きまし
た。「玄関のチャイムを押
すと、音の代わりに光が点
滅する」「名前を呼ばれて
も気付かず、困ることがあ
る」という話に、子どもた
ちは真剣に耳を傾けていま
した。

広島市立皆実小2年の
隅田ささらさん(7)は、
「覚えた手話で、同じ小
学校に通う耳の不自由な
三つ年上のお姉さんと会話
がしたい」と話していまし
た。

新田さんは「手話や暮ら
しぶりを知ること、耳が
聞こえない人への想像力が
養われると思う」と期待し
ています。

あいさつの仕方



こんにちは

①中指と人さし指をくっつけて、額に添えます



②両手の人さし指を立て、向かい合わせて少し曲げます



すみません

親指と人さし指でみけんをつまみ、手のひらを立てます



ありがとうございます

手をもう片方の手の甲に立て、上げます

ニュース5・7・5

選者・佐藤 秀之 (広島なぎさ中・高教諭)

「かぶと虫」残念だったね。これからは自分でしっかり管理しなさい。「気のせい」じゃないよ。「野菜」の高値で母さんは大変なんだ。



高齢者所在不明のニュースには驚きましたね。さまざまな事情で姿を消している、いわゆるホームレスといわれる人たちのことが思い浮かびますが、これも政治の力で何とかしなければいけない問題です。

登校日の平和学習で、「せんそう」の恐ろしさについて学んだそうです。どんな夢でも、平和であればこそかなえられるのです。「ないぼうが」いい？そんなこと言わないでくれ、「夏休み」がなかったらもう…。でも毎日「暑く」てたまらんね。熱中症にはくれぐれも気をつけるんだよ。

ニュース5・7・5の川柳を募集しています。

メールnie@chugoku-np.co.jpまたはファクス082(236)2321へ。連絡先を明記し、名前には読みがなも付けてください。

ご老人 どこへ消えたの 生きちよるか
 食へものも きるものもない せんそう中
 ないぼうが ずっと楽だよ 夏休み
 ひかげでね 暑くて犬が のびている
 大竹市・大竹小5年 倉本杏樹
 広島県世羅町・西大田小6年 淀川賢祐
 江田島市・柿浦小2年 細川藍香
 大竹市・大竹小5年 倉本杏樹
 岩国市・岩国小2年 中島拓信
 手料理に 気のせいなのか 野菜減る
 広島市安佐北区・安佐北中2年 島田咲愛

ことば博士

手話 独自の文法を持ち日常会話で使われる、くだけた「日本手話」、日本語の語順に近く、公式な場で使われる「日本語対応手話」があります。日本では1878年、京都に初のろう学校が誕生し、手話が発展しました。

世界ろう連盟には130カ国が加盟し、それぞれが独自の手話を持っています。

「はぐ♥ハグ」には、はぐくんで、HUGして(抱きしめて)…の意味を込めました。親子と一緒に読むページです。投稿やご意見はこちらへ！〒730-8677 中国新聞「はぐ♥ハグ」編集部。ファクス082(236)2830、メールoyako@chugoku-np.co.jp